

【第4回 東日本大震災復旧・復興対策特別委員会】 7月28日 午後1時~3時

議題

1. 今回の津波による被害状況と対応について
2. 津波対策の現状と課題について
3. 今後の津波対策について

冒頭、海上自衛隊のヘリから撮影の3月11日館山に津波が到来したときの映像が映写されました。委員に向けてですので、傍聴者には見えない位置でしたが、事務局の誘導で傍聴者も見ることができました。

1、今回の津波による被害状況と対応について

防災危機管理監概要説明（抜粋）

- ・最大の津波高は、旭市飯岡で7.6m
- ・これまでの津波浸水予測は、延宝地震・元禄地震のシュミレーションがもと。
- ・今後は、今回の津波の調査、検証、今後想定される津波のシュミレーションなどを行い、復旧・復興対策特別委員会及び6月に発足した調査専門委員会での提言、国の動向を踏まえながら、各部局が連携し、ソフトとハード両面から全般的に津波対策を見直していく。

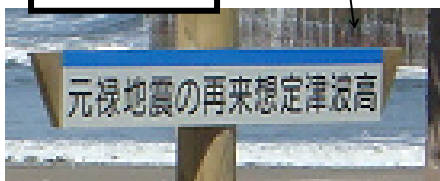
延宝地震

1677年11月 マグニチュード8.0

津波高は、銚子市8.4m、一宮町8.1m、御宿町7.4m、



太東海岸

**元禄地震**

1703年12月 マグニチュード7.9~8.2

震源は、房総半島南端の野島崎と推定

津波高は、南房総市10m超。富津市4.2m

浦安で3m、稲毛で3~4m

孤島の野島崎が陸続きになるなど、房総半島各所で隆起が見られる。

（千葉県防災誌・他より）

千葉県の防災誌「元禄地震」- 語り継ごう 津波被災と防災 - は、
千葉県防災危機管理監防災危機管理課ホームページ

<http://www.pref.chiba.lg.jp/bousai/bousaishi/genroku.html>

津波の威力は人の想定を超えるものだということ
を 地震後の東北各地の津波の様子で想像
以上の脅威を感じました。千葉県沖での地震を想定
した場合、その対策は十分とは思えません。

【東日本大震災の津波の状況】

〔津波高〕

観測場所	最大波高(m)	備考
銚子	2.5	気象庁（潮位変化）
旭市飯岡	7.6	県（陸の痕跡）
木更津港	2.83	県（潮位観測）
千葉港	1.87	県（潮位観測）
船橋	2.4	県（潮位観測）

〔河川の遡上〕

河川名	遡上距離 (km)	遡上位置
利根川	18.8	利根川河口堰
木戸川	8.0	山武市新田越橋付近
一宮川	13.6	茂原市早野橋付近
小櫃川	9.8	中郷大橋付近
都川	4.1	国道16号上流

【津波到達距離と最大浸水深さ】

市町村名	最大到達距離(m)	最大浸水深(m)
銚子市	380	2.5
旭市	940	3.7
匝瑳市	1,190	2.0
横芝光市	1,570	0.7
山武市	2,960	1.79
九十九里町	2,020	1.6
長生村	490	0.56
一宮町	790	1.45
いすみ市	185	2.2

その他
 水田の塩害被害 620 h a
 海岸保安林(県保有) 25 h a
 漁港被害 14 漁港
 漁船被害 405 隻
 離岸堤消波ブロックの沈下・飛散
 ヘッドランド拾石の散乱
 大型フトンかごの沈下・変形
 河川の護岸などの倒壊など
 港湾施設の破損など

*3 市町は、河川の遡上に寄り、河川堤防の越流などによる浸水と考えられる。

3、今後の津波対策について

6月16日、県に対し今後の防災家対策に必要な研究資料の提供や助言を行う専門家による構成される『東日本大震災千葉県調査検討専門委員会』を設置。(千葉県のHP)
<http://www.pref.chiba.lg.jp/bousai/jouhoukoukai/shingikai/higashi-iin/>
<http://www.pref.chiba.lg.jp/bousai/jouhoukoukai/shingikai/higashi-iin/kaisaiekkka.html>

6月補正予算より、過去・今回の津波によるシュミレーションから新たな津波浸水予測マップ作成。(東京湾内の津波に対しても)

県の検討状況

東沿岸：甚大な被害が発生したことから、**国の動向等を踏まえ**、県としての対策を検討

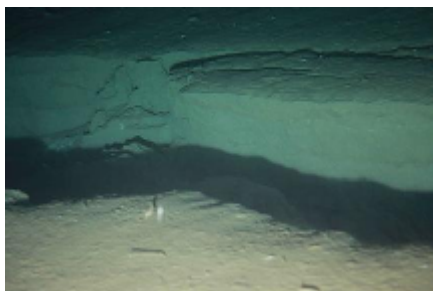
九十九里沿岸における海岸保全施設による津波対策は、技術的な検討を行うため学識経験者による委員会を設置し、津波防護のあり方を検討

海岸の利用形態・環境面に配慮しつつ、委員会の検討結果を踏まえ対策を進める。

東京湾沿岸：一部で既往最大津波高を超えた津波が観測されたが、計画高潮位か超えていない。

津波対策については、**国における検討動向を注視しながら**沿岸1都2県で連携して対応を検討。

* 中央防災会議「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門委員会
<http://www.bousai.go.jp/jishin/chubou/higashinohon/1/index.html>



しんかい 6500 撮影(海洋研究開発機構HPより)



政府の地震調査委員会では、房総沖等の海域でもM7～M8程度の地震が誘発される可能性があるとの見解を示しています。早急の対策をするべきだと思いますが、**想定外のこと**も考慮した上での対策を考えてほしいと思います。
 8月15日に「しんかい6500」から撮影された震源海域の海底の様子が公表されました。また、地震考古学も、9世紀の貞観・仁和地震のような「千年に一度の巨大地震の世紀になるかも」と警鐘を鳴らしている。想定ではなく、**きちんとした調査とそれを踏まえた対策を急いでほしい**と思います。
 千葉県は、**迷走している「国の動向」ではなく、しっかり県民の方向を向いた対策をしてほしい**と思います。